

北海道における感染症発生動向調査について (2023 年)

Report of Infectious Disease Surveillance in Hokkaido, 2023

川代 愛梨 田宮 和真 高津 祐太 山口 宏樹

Airi KAWASHIRO, Kazuma TAMIYA, Yuta TAKATSU and Hiroki YAMAGUCHI

Key words : infectious disease surveillance (感染症発生動向調査) ; Hokkaido infectious disease surveillance center (北海道感染症情報センター) ; national epidemiological surveillance of infectious diseases (NESID、感染症サーベイランスシステム)

わが国では感染症の発生及びまん延を防止するため、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(感染症法、以下「法」とする)に基づく施策として、感染症発生動向調査が行われている¹⁾。本調査事業では、患者を診断したすべての医師が届出を行う全数把握疾患(一～四類感染症、五類感染症の一部、新型インフルエ

ンザ等感染症、指定感染症及び新感染症)及び指定された医療機関のみが届出を行う定点把握疾患(五類感染症の一部)を対象としている(表 1-1、1-2)。

2020 年 2 月 3 日から「新型コロナウイルス感染症」が指定感染症(全数把握疾患)に追加され²⁾、2021 年 2 月 13 日から「新型コロナウイルス感染症」が法第 6 条第 7 項の「新型インフルエンザ等感染症」に位置づけられた³⁾。その後、2022 年 9 月 26 日から全数届出の見直しにより発生届の対象範囲が(ア) 65 歳以上の者、(イ) 入院を要する者、(ウ) 重症化リスクがあり、かつ、新型コロナ治療薬の投与が必要な者または重症化リスクがあり、かつ、新型コロナ罹患により新たに酸素投与が必要な者、(エ) 妊婦からなる 4 類型に限定され⁴⁾、2023 年 5 月 8 日には五類感染症定点把握疾患に指定された⁵⁾。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)について本稿では、定点からの報告が開始された 2023 年第 19 週以降(2023 年 5 月 8 日以降)の報告数のみを示す。

2023 年 5 月に法の一部改正により、四類感染症(全数把握疾患)である「サル痘」の名称が「エムボックス」に変更され、五類感染症(全数把握疾患)である「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」の名称が「カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症」に変更された⁶⁾。

本稿では、2023 年の北海道における全数及び定点把握疾患の患者届出状況をまとめたので報告する。

方 法

対象疾患の感染症情報は、感染症サーベイランスシステム(NESID)の中央データベースに登録されたデータを使用した。2023 年の全数把握疾患は 2023 年第 1~52 週に診断された患者等の届出、定点把握疾患(週報)は 2023 年第 1~52 週の報告、定点把握疾患(月報)は 2023 年 1~12 月の報告データを用いた。また、比較対象とした 2022

表 1-1 感染症発生動向調査の対象疾患数

(2023 年 12 月末時点)

	疾患数
一類感染症	7
二類感染症	7
三類感染症	5
四類感染症	44
五類感染症(全数把握)	24
五類感染症(定点把握)	26
新型インフルエンザ等感染症	2
指定感染症及び新感染症	0

表 1-2 感染症発生動向調査の定点数

(2023 年 12 月末時点)

	対象疾患数	道内の定点数
(週単位)		
インフルエンザ / COVID-19 定点	2	224
小児科定点	10	138
眼科定点	2	29
基幹定点	5	23
(月単位)		
性感染症定点	4	42
基幹定点	3	23

年以前のデータについては、全数把握疾患は2020年第1週～2022年第52週に診断された患者等の届出、定点把握疾患（週報）は2014年第1週～2022年第52週の報告、定点把握疾患（月報）は2020年1月～2022年12月の報告データを用いた。

集計・解析にはMicrosoft Excel 2021に加えて、Microsoft Accessを基に当所で構築した「北海道感染症情報システム」及び「感染症データ分析ツール」⁷⁾を使用した。

結 果

1. 全数把握疾患

全数把握疾患の届出状況を表2-1に示した。また、個別の疾患について年齢構成等の詳細を表2-2～2-19に示した。なお、2023年に診断された届出が20に満たない疾患については紙面の都合上、個別の表の掲載を省略した。詳細なデータについては、当所ホームページ⁸⁾を参照されたい。

表2-1 全数把握疾患 届出数

分類	疾患名	2020年	2021年	2022年	2023年
二類	結核	638	614	532	513
三類	細菌性赤痢	4			2
	腸管出血性大腸菌感染症	160	241	168	136
四類	E型肝炎	83	61	44	60
	A型肝炎	4	2	3	2
	エキノкокクス症	24	30	23	14
	オウム病			1	
	回帰熱	15	10	25	23
	デング熱			1	3
	マラリア		3		1
	ライム病	24	20	9	17
	レジオネラ症	44	53	58	54
	レプトスピラ症				1
五類	アメーバ赤痢	18	15	13	16
	ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）	4	4	6	4
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	75	85	117	122
	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）		1	1	2
	急性脳炎*	14	9	9	32
	クリプトスポリジウム症	4	1	3	6
	クロイツフェルト・ヤコブ病	6	10	6	6
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	33	24	22	35
	後天性免疫不全症候群	22	26	24	43
	ジアルジア症		1	1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7	5	11	33
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1			
	侵襲性肺炎球菌感染症	53	59	56	73
	水痘（入院例に限る）	17	15	19	12
	梅毒	122	169	599	681
	播種性クリプトкокクス症	2	4	3	3
	破傷風	3	11	3	5
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3	1		
	百日咳	148	26	24	72
	風しん	2		1	
	麻疹			1	2
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1			

*：ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く

表 2-2 結核 診断別、年齢階級別、感染地域別報告数

		2020年			2021年			2022年			2023年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
類型	患者	212	171	383	190	151	341	143	136	279	162	133	295
	感染症死亡者の死体	1	2	3				1	2	3		1	1
	疑似症患者	4	4	8	4	4	8	3	1	4	3	3	6
	無症状病原体保有者	94	150	244	112	153	265	91	155	246	102	109	211
	合計	311	327	638	306	308	614	238	294	532	267	246	513
年齢階級	0歳	3	4	7	4	2	6	2	3	5	1		1
	1～9歳	1	2	3				2	2	4			
	10～19歳	1	4	5		2	2	1	1	2	2	1	3
	20～29歳	12	22	34	10	18	28	13	16	29	12	22	34
	30～39歳	12	23	35	13	8	21	3	20	23	9	12	21
	40～49歳	19	23	42	12	12	24	8	31	39	12	25	37
	50～59歳	22	40	62	27	34	61	13	23	36	14	22	36
	60～69歳	43	39	82	42	43	85	33	41	74	34	25	59
	70歳以上	198	170	368	198	189	387	163	157	320	183	139	322
感染地域 (推定または確定)	日本国内	187	211	398	203	205	408	136	181	317	141	132	273
	日本国外	4	8	12	8	5	13	5	12	17	7	17	24
	不明	120	108	228	95	98	193	97	101	198	119	97	216

表 2-3 腸管出血性大腸菌感染症 診断別、年齢階級別報告数

		2020年			2021年			2022年			2023年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
類型	患者	50	44	94	48	72	120	52	53	105	40	42	82
	無症状病原体保有者	26	40	66	45	76	121	20	43	63	19	35	54
	合計	76	84	160	93	148	241	72	96	168	59	77	136
年齢階級	0歳	1	2	3		1	1	2		2	1		1
	1～9歳	23	11	34	29	32	61	17	20	37	13	17	30
	10～19歳	8	7	15	19	7	26	11	9	20	13	2	15
	20～29歳	12	11	23	7	25	32	11	16	27	8	16	24
	30～39歳	6	11	17	9	20	29	10	10	20	7	10	17
	40～49歳	7	11	18	7	21	28	10	11	21	2	11	13
	50～59歳	4	11	15	6	11	17	5	14	19	8	4	12
	60～69歳	3	7	10	7	12	19	3	10	13	4	9	13
	70歳以上	12	13	25	9	19	28	3	6	9	3	8	11

表 2-4 O 血清群別報告数 (2023 年)

O 血清群	報告数	
	患者	無症状病原体保有者
1	1	
6		1
8		1
26	12	5
55		1
91		2
103	9	2
111	6	2
128		3
136		1
145	1	
146		2
157	46	11
166		1
26、157*		1
不明	7	21
合計	82	54

表 2-5 溶血性尿毒症症候群発症例 (2023 年)

性別	年齢	O 血清群	毒素型
女	4	157	VT1 VT2
女	2	157	VT2
女	3	111	VT1 VT2

* : 2つの血清群の重複

表 2-6 E 型肝炎 診断別、年齢階級別報告数

類型	2020 年			2021 年			2022 年			2023 年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
患者	62	12	74	42	10	52	26	11	37	32	16	48
無症状病原体保有者	8	1	9	7	2	9	5	2	7	10	2	12
合計	70	13	83	49	12	61	31	13	44	42	18	60
年齢階級												
0 歳												
1～9 歳												
10～19 歳												
20～29 歳	4		4		1	1		2	2			
30～39 歳	4	1	5	4	2	6	3		3	5	1	6
40～49 歳	11	1	12	10	4	14	2	2	4	6	1	7
50～59 歳	13	2	15	10		10	7	3	10	11	5	16
60～69 歳	26	4	30	11	2	13	10	2	12	11	4	15
70 歳以上	12	5	17	14	3	17	9	4	13	9	7	16
献血で判明と記載があったもの	3	1	4	2	1	3	2	1	3	1	1	2

表 2-7 回帰熱 診断別、年齢階級別報告数

類型	2020 年			2021 年			2022 年			2023 年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
患者	9	6	15	8	1	9	12	13	25	15	8	23
無症状病原体保有者					1	1						
合計	9	6	15	8	2	10	12	13	25	15	8	23
年齢階級												
0 歳												
1～9 歳												
10～19 歳										1	2	3
20～29 歳		1	1	1		1	1		1	3		3
30～39 歳				3	1	4	1	4	5			
40～49 歳	2		2	1	1	2	1	2	3	2		2
50～59 歳	2	1	3	1		1	3	3	6	3	2	5
60～69 歳	3	1	4	1		1	3	2	5	2	1	3
70 歳以上	2	3	5	1		1	3	2	5	4	3	7

表 2-8 レジオネラ症 病型別、年齢階級別報告数

病型	2020 年			2021 年			2022 年			2023 年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
肺炎型	34	6	40	35	13	48	47	8	55	38	12	50
ポンティアック熱型	3		3	5		5	1	1	2	1	3	4
無症状病原体保有者	1		1									
合計	38	6	44	40	13	53	48	10	58	39	15	54
年齢階級												
0 歳												
1～9 歳												
10～19 歳												
20～29 歳				1		1						
30～39 歳										1	1	2
40～49 歳	1		1	4	1	5	4		4		2	2
50～59 歳	8		8	10	1	11	9	1	10	5	1	6
60～69 歳	13	1	14	10	3	13	16	1	17	15	6	21
70 歳以上	16	5	21	15	8	23	19	8	27	18	5	23

表 2-9 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 診断別、年齢階級別報告数

患者 感染症死亡者の死体 合計	2020年			2021年			2022年			2023年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
患者	41	33	74	45	40	85	53	63	116	68	54	122
感染症死亡者の死体		1	1				1		1			
合計	41	34	75	45	40	85	54	63	117	68	54	122
年齢階級												
0歳							1		1			
1～9歳												
10～19歳				1		1						
20～29歳					1	1	1	2	3		1	1
30～39歳		1	1		2	2	1	1	2		1	1
40～49歳	1	2	3	2		2		5	5	1		1
50～59歳	1	1	2	3	1	4	3	4	7	5	3	8
60～69歳	6	2	8	8	7	15	4	4	8	9	6	15
70歳以上	33	28	61	31	29	60	44	47	91	53	43	96

表 2-10 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 病原体別報告数 (2023年)

病原体	報告数
<i>Klebsiella</i> 属	66
<i>Enterobacter</i> 属	47
<i>Escherichia</i> 属	2
<i>Citrobacter</i> 属	3
<i>Serratia</i> 属	1
その他	2
不明	1

表 2-11 急性脳炎 病原体別報告数

病原体	2020年	2021年	2022年	2023年
インフルエンザウイルス	2			7
ヘルペスウイルス	2	3	1	3
ロタウイルス		1		
コクサッキーウイルス				1
エンテロウイルス				1
エンテロウイルス、ライノウイルス*			1	
ヒトパレコウイルス				4
アデノウイルス				1
麻疹ウイルス		1		
パラインフルエンザウイルス			2	
新型コロナウイルス			2	
溶血性レンサ球菌				1
病原体不明	10	5	4	12
合計	14	9	9	32

* : 2つの病原体の重複

表 2-12 急性脳炎 診断月、性別、年齢、病原体 (2023年)

診断月	性別	年齢	病原体
3月	女	0	単純ヘルペスウイルス
5月	男	12	病原体不明
7月	女	5	病原体不明
	女	2	病原体不明
	男	0	ヒトパレコウイルス
	女	0	ヒトパレコウイルス
	女	2	パラインフルエンザウイルス 3型
	男	0	病原体不明
	男	0	病原体不明
	男	5	病原体不明
	男	1	パラインフルエンザウイルス 3型
	女	7	病原体不明
	女	8	病原体不明
8月	男	3	病原体不明
	女	0	病原体不明
	男	0	ヒトパレコウイルス 3型
9月	女	0	エンテロウイルス
	女	0	ヒトパレコウイルス
10月	男	6	コクサッキーウイルス A10型
11月	男	57	インフルエンザウイルス A
	女	4	アデノウイルス
	女	3	インフルエンザウイルス A
	男	15	インフルエンザウイルス A
12月	女	15	インフルエンザウイルス A
	女	4	溶血性レンサ球菌
	男	6	単純ヘルペスウイルス 1型
	男	4	インフルエンザウイルス A
	女	2	ヒトヘルペスウイルス 6型
	男	3	病原体不明
	男	0	病原体不明
	男	12	インフルエンザウイルス A
	女	5	インフルエンザウイルス A

表 2-13 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 診断別、年齢階級別報告数

類型		2020年			2021年			2022年			2023年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
患者 感染症死亡者の死体	患者	18	13	31	12	11	23	7	15	22	16	16	32
	感染症死亡者の死体	2		2	1		1				1	2	3
	合計	20	13	33	13	11	24	7	15	22	17	18	35
年齢階級	0歳							1		1			
	1～9歳				1		1						
	10～19歳												
	20～29歳										1		1
	30～39歳												
	40～49歳				1		1		1	1	2		2
	50～59歳	3	1	4	1		1		4	4	1		1
	60～69歳	7	1	8	2	3	5	2	2	4	4		4
	70歳以上	10	11	21	9	7	16	4	8	12	10	17	27

表 2-14 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 血清群別報告数

血清群	2020年*	2021年	2022年	2023年*
A	9	9	8	13
B	5	3	6	9
C		1		2
D		1		
G	14	9	5	10
不明	6	1	3	2

*：1つの届出に対して複数の血清群の重複を含む

表 2-15 後天性免疫不全症候群 病名別、年齢階級別、感染地域別、国籍別、感染経路別報告数

病名		2020年			2021年			2022年			2023年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
病名	無症候性キャリア	16		16	18		18	17		17	23	2	25
	AIDS	4	1	5	8		8	7		7	17		17
	その他	1		1							1		1
	合計	21	1	22	26		26	24		24	41	2	43
年齢階級	0歳												
	1～9歳												
	10～19歳												
	20～29歳		5	5	5	5	3	3	9		9		9
	30～39歳		5	5	11	11	13	13	18	2	20		20
	40～49歳		8	8	8	8	7	7	9		9		9
	50～59歳		2	1	3	1	1	1	3		3		3
	60～69歳		1		1	1		1					
	70歳以上										1		1
不明										1		1	
感染地域 (推定または確定)	日本国内	15		15	20		20	20		20	33	2	35
	日本国外		1	1				1		1	4		4
	不明	6		6	6		6	3		3	4		4
国籍	日本	20		20	23		23	22		22	36	2	38
	その他	1	1	2	2		2	2		2	5		5
	不明				1		1						
感染経路 (推定または確定)	性行為感染（同性間）	14		14	12		12	18		18	27		27
	性行為感染（異性間）	3	1	4	5		5	2		2	6	2	8
	性行為感染（同性間、異性間）				1		1						
	不明	4		4	8		8	4		4	8		8

表 2-16 侵襲性インフルエンザ菌感染症 診断別、年齢階級別報告数

類型	患者	2020年			2021年			2022年			2023年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
	0歳												
	1～9歳	1		1							2	2	
	10～19歳												
	20～29歳												
年齢階級	30～39歳												
	40～49歳							2		2		1	1
	50～59歳								1	1			
	60～69歳		1	1				1		1	7	2	9
	70歳以上	4	1	5	3	2	5	2	5	7	10	11	21

表 2-17 侵襲性肺炎球菌感染症 診断別、年齢階級別報告数

類型	患者	2020年			2021年			2022年			2023年			
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	不明	計
	感染症死亡者の死体	33	20	53	44	13	57	42	13	55	37	33	1	71
	合計	33	20	53	46	13	59	43	13	56	39	33	1	73
	0歳	4	1	5				1	1	2				
	1～9歳	5	1	6	4		4	8	5	13	5	9		14
	10～19歳										2			2
	20～29歳				2		2							
年齢階級	30～39歳				2		2							
	40～49歳		1	1	1		1	1	1	2	4	1		5
	50～59歳	1	2	3	6		6	4	1	5	3	2		5
	60～69歳	6	3	9	7	2	9	4	1	5	7	5		12
	70歳以上	17	12	29	24	11	35	25	4	29	18	16	1	35

表 2-18 梅毒 病型別、年齢階級別、感染経路別報告数

病型	患者	2020年			2021年			2022年			2023年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
	先天梅毒					1	1	1		1	3		3
	早期顕症梅毒（Ⅰ期）	37	9	46	51	11	62	252	85	337	219	113	332
	早期顕症梅毒（Ⅱ期）	18	19	37	23	23	46	84	83	167	105	101	206
	晩期顕症梅毒	3	1	4	1	3	4	6	3	9	5	3	8
	無症状病原体保有者	18	17	35	24	32	56	32	53	85	52	80	132
	合計	76	46	122	99	70	169	375	224	599	384	297	681
	0歳					1	1	1		1	3		3
	1～9歳												
	10～19歳	2	3	5	1	8	9	7	31	38	9	23	32
	20～29歳	26	29	55	27	31	58	87	108	195	82	164	246
年齢階級	30～39歳	15	4	19	23	13	36	95	45	140	65	58	123
	40～49歳	12	6	18	31	4	35	103	21	124	92	32	124
	50～59歳	12		12	11	3	14	57	10	67	83	13	96
	60～69歳	4	1	5	6		6	20	2	22	29	2	31
	70歳以上	5	3	8		10	10	5	7	12	21	5	26
	性行為感染（同性間）	10		10	7	1	8	16	7	23	21		21
	性行為感染（異性間）	48	28	76	65	48	113	304	189	493	296	238	534
	性行為感染（同性間、異性間不明）	9	9	18	13	5	18	22	15	37	29	39	68
感染経路 (推定または確定)	母子感染					1	1	2		2	3		3
	輸血												
	針等の鋭利なものの刺入												
	その他					1	1	1		1		2	2
	不明	9	9	18	14	14	28	30	13	43	35	18	53

表 2-19 百日咳 診断別、年齢階級別報告数

類型	患者	2020年			2021年			2022年			2023年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
		63	85	148	5	21	26	6	18	24	18	54	72
	0歳	1	4	5		1	1				1		1
	1～9歳	30	30	60		2	2	2	3	5	11	22	33
	10～19歳	17	20	37	1	4	5		3	3	2	6	8
	20～29歳	4	11	15	1	7	8	2	2	4	1	8	9
年齢階級	30～39歳	3	7	10	1	5	6		5	5	1	6	7
	40～49歳	2	11	13	1	1	2		2	2		8	8
	50～59歳	4	1	5					1	1	2	1	3
	60～69歳	1		1				1		1		2	2
	70歳以上	1	1	2	1	1	2	1	2	3		1	1

1) 一類感染症

一類感染症の届出はなかった。

2) 二類感染症

a. 結核

2023年は2022年と比べて19人減少となる513人の届出があった。2023年の届出の類型の内訳は、患者295人、感染症死亡者の死体1人、疑似症患者6人及び無症状病原体保有者211人であった(表2-2)。年齢は0～102歳の届出があり、30歳未満の若い世代での届出数が38人と全体の7%を占めた。一方、60歳以上は381人が届出され、全体の74%を占めた。感染地域(推定または確定)は日本国内273人、国外24人及び不明216人であった。感染地域(推定または確定)の届出のうち、国外の割合は全年代では5%に留まった一方で、30歳未満では45%を占めた。病型の内訳は、肺結核が最多となる227人、次いで結核性胸膜炎29人、結核性リンパ節炎11人、粟粒結核8人と続いた。看護師、准看護師などの医療従事者や介護職員から48人の届出があった。

3) 三類感染症

a. 細菌性赤痢

2023年は2人の届出があった。病原体は*Shigella flexneri*及び*S. sonnei*がそれぞれ1人、感染地域(推定または確定)はすべて日本国外(インドネシア及びミャンマー)であった。

b. 腸管出血性大腸菌感染症

2023年は2022年と比べて32人減少となる136人の届出があった。2023年の届出の類型の内訳は、患者82人及び無症状病原体保有者54人であった(表2-3)。年齢は0～97歳の届出があり、0～9歳が31人と全体の23%を占めた。O血清群別の届出数では、O157が最も多く58人(患者46人、無症状病原体保有者12人、O26との重複感染含む)であった(表2-4)。重篤な合併症である溶血性尿毒症候群の患者は3人の届出があり、有症状者の4%で見られた(表2-5)。

4) 四類感染症

a. E型肝炎

2023年は2022年と比べて16人増加となる60人の届出があった。2023年の届出の類型の内訳は、患者48人及び

無症状病原体保有者12人であった。性別は男性42人、女性18人と、男性の届出が女性の2.3倍であった(表2-6)。年齢は30～89歳の届出があり、50歳以上が47人と全体の78%を占めた。感染経路(推定または確定)は、焼き肉やレバーの喫食などの経口感染が49人、不明が11人であった。また、献血時の検査で罹患が判明した2人の届出があった。E型肝炎の病原体であるE型肝炎ウイルスにはG1～G4まで4つの遺伝子型が報告されている⁹⁾。2020～2023年において遺伝子型の記載があった発生届を抽出したところ、G3で26人、G4で9人の届出があった。2023年にはG3で8人、G4で4人の届出があった。

b. A型肝炎

2023年は2人の届出があった。感染地域(推定または確定)は日本国内1人及び不明1人であった。

c. エキノコックス症

2023年は14人の届出があった。年齢は51～86歳であった。感染地域(推定または確定)は北海道12人及び不明2人であった。

d. 回帰熱

2023年は2022年と比べて2人減少となる23人の届出があった。年齢は14～81歳であった(表2-7)。また、感染地域(推定または確定)はすべて北海道であった。

e. デング熱

2023年は3人の届出があった。感染地域(推定または確定)はすべて日本国外(フィリピン、インドネシア及びマレーシア)であった。

f. マラリア

2023年は1人の届出があった。年代は40代、性別は男性、感染地域(推定)は日本国外(ギニア)であった。

g. ライム病

2023年は17人の届出があった。年齢は14～81歳であった。感染地域(推定または確定)はすべて北海道であった。

h. レジオネラ症

2023年は2022年と比べて4人減少となる54人の届出があった。性別は男性39人、女性15人と、男性の届出が女性の2.6倍であった(表2-8)。年齢は38～96歳で届出があり、60歳以上が44人と全体の81%を占めた。病型

の内訳は重篤な症状を呈する肺炎型が50人及びポンティアック熱型が4人であった。

i. レプトスピラ症

2023年は1人の届出があった。年代は30代、性別は男性、感染経路（確定）は水系感染、感染地域（確定）は北海道であった。2006年以降3人目の届出であるが、北海道内における水系感染が疑われるレプトスピラ症としては初の報告であった¹⁰⁾。

5) 五類感染症

a. アメーバ赤痢

2023年は16人の届出があった。性別は男性14人、女性2人と、男性の届出が大部分を占めた。年齢は40～68歳であった。感染地域（推定または確定）は日本国内12人、国外（ニュージーランド）1人及び不明3人であった。

b. ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）

2023年は病原体がB型肝炎ウイルスの届出が3人、サイトメガロウイルスの届出が1人の計4人の届出があった。B型肝炎の届出のうち、ワクチン接種歴は未接種2人及び不明1人であった。B型肝炎ワクチンは2016年10月1日から定期接種となり、対象は2016年4月1日以降に生まれた0歳児とされている¹¹⁾。

c. カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症

2023年は2022年と比べて5人増加となる122人の届出があった。年齢は20～98歳で届出があり、70歳以上が96人と全体の79%を占めた（表2-9）。病原体は*Klebsiella*属66人、*Enterobacter*属47人、*Escherichia*属2人、*Citrobacter*属3人、*Serratia*属1人、その他2人及び病原体不明1人であった（表2-10）。122人すべての届出で90日以内の海外渡航歴はなかった。症状は肺炎が最多となる42人、次いで尿路感染症29人、菌血症23人、胆管炎17人と続いた（図1-1）。

d. 急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）

2023年は2人の届出があった。いずれも年齢は10歳未満、病原体不明であった。

e. 急性脳炎

2023年は2022年と比べて23人増加となる32人の届出があった。病原体は不明が最多となる12人、次いでインフルエンザウイルス7人、ヒトパレコウイルス4人、ヘルペスウイルス3人と続いた（表2-11）。ヒトパレコウイルスを原因とする急性脳炎は2020～2022年には届出がなかったが、2023年7～9月には北海道内複数の地域において発生した¹²⁾。年齢は0～57歳で届出があり、10歳未満が27人と全体の84%を占めた（表2-12）。

f. クリプトスポリジウム症

2023年は6人の届出があった。年齢は2～72歳であった。感染経路（推定または確定）は牛などの動物・蚊・昆虫等からの感染が4人、不明が2人であった。

g. クロイツフェルト・ヤコブ病

2023年は6人の届出があった。年齢はすべて70歳以上であった。

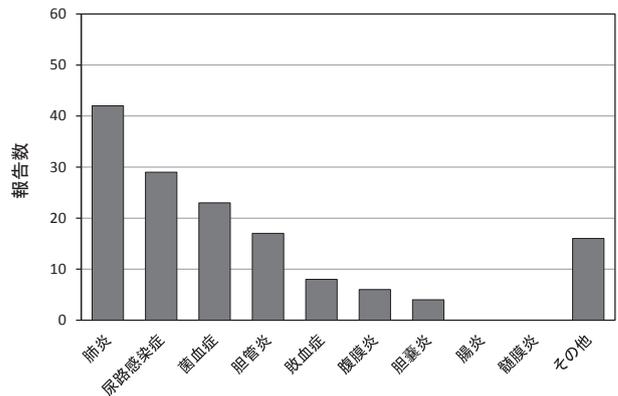


図1-1 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症の主な症状 (2023年, n = 122, 症状は重複あり)

h. 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

2023年は2022年と比べて13人増加となる35人の届出があった。年齢は23～101歳で届出があり、70歳以上が27人と全体の77%を占めた（表2-13）。2023年の病原体の血清群（重複を含む）はA群が最多となる13人、次いでG群10人、B群9人と続いた（表2-14）。届出時点で死亡が確認された届出は15人と、全体の43%を占めた。

i. 後天性免疫不全症候群

2023年は2022年と比べて19人増加となる43人の届出があった。性別は男性41人、女性2人と、男性の届出が大部分を占めた（表2-15）。年齢は23～79歳で届出があり、30～49歳が29人と全体の67%を占めた。病名の内訳は無症候性キャリア25人、AIDS17人及びその他1人であった。感染経路（推定または確定）は同性間性行為感染が最多となる27人であった。

j. 侵襲性インフルエンザ菌感染症

2023年は2022年と比べて22人増加となる33人の届出があった（表2-16）。年齢は2～97歳であった。2013年4月より、乳幼児へのHibワクチン定期接種が開始された¹³⁾。

10歳未満の届出は2人いずれも4回のワクチン接種歴があり、40歳以上の届出は31人のうち未接種5人及び不明26人であった。

k. 侵襲性肺炎球菌感染症

2023年は2022年と比べて17人増加となる73人の届出があった（表2-17）。2013年4月から小児へのワクチン定期接種が開始されたのに続き¹⁴⁾、2014年10月からは65歳以上の高齢者へのワクチン定期接種が開始された¹⁵⁾。10歳未満の届出は14人のうち11人が3回以上のワクチン接種歴があり、65歳以上の届出は43人のうち1回接種歴あり2人、未接種8人及び不明33人であった（図1-2）。

l. 水痘（入院例に限る）

2023年は12人の届出があった。年齢は9～93歳であった。病型の内訳は検査診断例が8人、臨床診断例が4人であった。

m. 梅毒

2023年は2022年と比べて82人増加となる681人の届出があった。年齢について男性は0～81歳で届出があり、

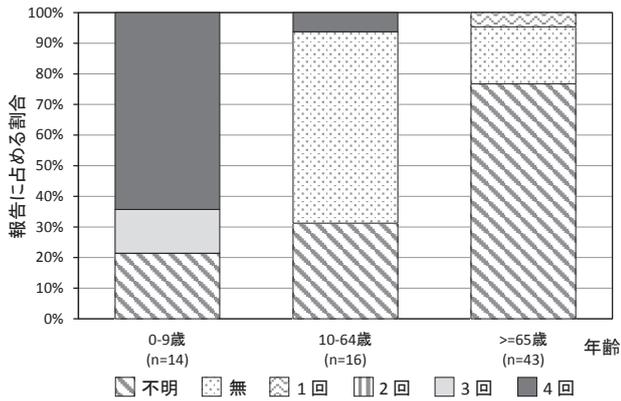


図 1-2 侵襲性肺炎球菌感染症の年代別ワクチン接種歴 (2023年, n = 73)

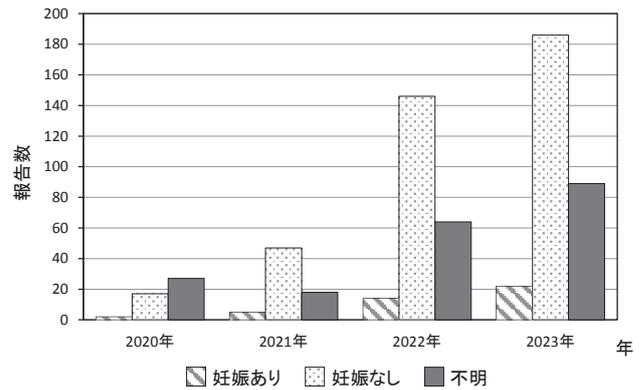


図 1-3 梅毒発生届の女性の妊娠の有無 (2020 ~ 2023年, n = 637)

40代が最多となる92人であった。女性は16~97歳で届出があり、20代が164人と女性の届出の55%を占めた。病型の内訳は先天梅毒3人、早期顕症梅毒（I期）332人、早期顕症梅毒（II期）206人、晩期顕症梅毒8人、無症状病原体保有者132人であった。感染経路（推定または確定）は、性行為感染（異性間）が最多となる534人であった（表2-18）。また、2023年の妊娠している女性の届出は2022年と比べて8人増加となる22人であった（図1-3）。

n. 播種性クリプトコックス症

2023年は3人の届出があった。年齢はすべて70歳以上、感染原因（推定または確定）はすべて免疫不全であった。

o. 破傷風

2023年は5人の届出があった。年齢は22~88歳であった。ワクチン接種歴について20代の届出1人はワクチン接種歴があり、70歳以上の届出は4人のうち未接種1人及び

不明3人であった。

p. 百日咳

2023年は2022年と比べて48人増加となる72人の届出があった（表2-19）。年齢は0~76歳で届出があり、20歳未満の届出が42人と全体の58%を占めた。ワクチン接種歴は4回接種歴あり26人、3回接種歴あり3人、1回接種歴あり1人及び不明42人であった。

q. 麻しん

2023年は2人の届出があった。いずれも年齢は20代、病型は麻しん（検査診断例）であった。感染地域（推定または確定）はいずれも日本国内、ワクチン接種歴は未接種1人及び不明1人であった。

2. 定点把握疾患（週報）

定点把握疾患（週報）の報告状況について、表3-1、3-2及び図2-1~2-16に示した。

表 3-1 定点把握疾患（週報：インフルエンザ/COVID-19・小児科・眼科・基幹定点） 報告数

定点名	疾患名	2020年	2021年	2022年	2023年
インフルエンザ/COVID-19 定点	インフルエンザ	27,014	61	1,289	126,503
	COVID-19	-	-	-	70,199*
小児科定点	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10,551	6,633	3,624	14,336
	RS ウイルス感染症	934	10,197	5,040	9,382
	ヘルパンギーナ	289	128	2,455	11,046
	咽頭結膜熱	2,042	2,186	1,563	12,743
	感染性胃腸炎	6,506	9,825	11,268	15,385
	手足口病	240	331	7,853	1,145
	水痘	1,345	1,018	675	802
	伝染性紅斑	1,451	54	43	60
	突発性発しん	1,838	1,497	1,041	923
	流行性耳下腺炎	202	187	146	203
眼科定点	急性出血性結膜炎	9	2	9	6
	流行性角結膜炎	473	138	124	261
基幹定点	クラミジア肺炎	1		1	1
	マイコプラズマ肺炎	223	40	33	46
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	29	6	14	7
	細菌性髄膜炎	8	4	9	7
	無菌性髄膜炎	11	1	2	5

*：2023年第19週以降

表3-2 定点把握疾患（週報：インフルエンザ/COVID-19・小児科・眼科・基幹定点） 定点当たり週別報告数（2023年）

報告週	インフルエンザ	COVID-19	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	RSウイルス感染症	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎	手足口病	水痘	伝染性紅斑	突発性発しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	クラミジア肺炎	マイコプラズマ肺炎	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎
1週	5.72	-	0.39	0.32	0.01	0.26	1.15	0.05	0.17	0.00	0.08	0.00	0.00	0.03	0.00	0.13	0.00	0.00	0.00
2週	7.55	-	0.35	0.33	0.02	0.24	2.13	0.01	0.14	0.00	0.09	0.01	0.03	0.03	0.00	0.00	0.04	0.00	0.00
3週	8.20	-	0.55	0.46	0.04	0.27	2.59	0.03	0.16	0.01	0.19	0.04	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
4週	8.90	-	0.59	0.58	0.01	0.19	3.09	0.01	0.09	0.00	0.08	0.00	0.00	0.14	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00
5週	11.37	-	0.55	0.71	0.01	0.28	2.63	0.03	0.06	0.00	0.13	0.01	0.00	0.24	0.00	0.04	0.00	0.00	0.00
6週	11.96	-	0.79	1.09	0.04	0.14	2.76	0.05	0.09	0.00	0.12	0.02	0.00	0.10	0.00	0.00	0.04	0.00	0.00
7週	12.29	-	1.11	1.31	0.02	0.19	3.18	0.00	0.18	0.01	0.14	0.01	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
8週	11.44	-	0.90	1.37	0.04	0.26	3.02	0.01	0.04	0.00	0.05	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00	0.04	0.00	0.00
9週	10.16	-	0.86	1.73	0.01	0.17	3.37	0.02	0.16	0.00	0.10	0.01	0.00	0.10	0.00	0.04	0.00	0.00	0.00
10週	12.90	-	0.79	1.79	0.02	0.19	2.88	0.04	0.12	0.01	0.09	0.01	0.00	0.14	0.00	0.04	0.00	0.00	0.00
11週	12.09	-	1.11	2.11	0.02	0.29	2.56	0.01	0.09	0.00	0.08	0.02	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
12週	8.75	-	0.93	1.81	0.04	0.18	2.23	0.01	0.16	0.00	0.06	0.01	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
13週	5.16	-	0.76	1.66	0.02	0.23	1.61	0.00	0.09	0.00	0.20	0.02	0.00	0.10	0.00	0.00	0.04	0.00	0.00
14週	3.21	-	0.85	1.55	0.01	0.16	2.01	0.00	0.11	0.01	0.14	0.01	0.00	0.00	0.00	0.04	0.00	0.00	0.00
15週	2.38	-	0.96	2.27	0.02	0.26	2.29	0.00	0.06	0.00	0.08	0.02	0.00	0.28	0.00	0.04	0.00	0.00	0.00
16週	2.94	-	1.22	2.81	0.04	0.39	2.97	0.04	0.06	0.01	0.14	0.02	0.00	0.03	0.00	0.04	0.00	0.00	0.00
17週	4.11	-	1.49	2.39	0.03	0.36	2.81	0.02	0.11	0.01	0.19	0.03	0.00	0.03	0.00	0.22	0.00	0.00	0.00
18週	2.26	-	0.70	1.87	0.04	0.34	1.66	0.00	0.04	0.00	0.08	0.04	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
19週	1.26	4.36	1.35	2.02	0.02	0.56	2.66	0.01	0.10	0.03	0.19	0.02	0.00	0.10	0.00	0.04	0.00	0.00	0.00
20週	1.98	5.44	1.83	2.44	0.10	0.60	3.06	0.07	0.09	0.00	0.09	0.04	0.03	0.28	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00
21週	1.38	5.81	1.87	2.72	0.11	0.78	3.42	0.04	0.04	0.03	0.18	0.05	0.00	0.07	0.00	0.09	0.00	0.00	0.04
22週	1.41	6.71	1.82	2.68	0.19	0.99	3.30	0.04	0.09	0.02	0.18	0.01	0.03	0.28	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00
23週	0.99	6.47	2.17	2.71	0.75	1.17	3.70	0.04	0.07	0.01	0.13	0.07	0.00	0.17	0.04	0.00	0.04	0.04	0.00
24週	0.77	5.71	2.06	2.45	2.05	1.19	2.99	0.10	0.27	0.02	0.15	0.07	0.00	0.21	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00
25週	0.40	5.23	2.21	2.35	3.26	1.18	2.39	0.26	0.10	0.01	0.15	0.15	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
26週	0.25	6.03	2.07	2.34	6.01	0.95	1.80	0.23	0.16	0.00	0.09	0.02	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
27週	0.11	6.73	2.53	2.47	10.72	0.99	2.62	0.41	0.14	0.01	0.14	0.02	0.00	0.24	0.00	0.00	0.04	0.00	0.04
28週	0.15	8.61	2.12	2.32	12.35	0.91	1.67	0.36	0.15	0.01	0.12	0.10	0.00	0.10	0.00	0.04	0.04	0.00	0.00
29週	0.40	8.92	1.66	2.15	9.62	0.78	1.58	0.31	0.07	0.00	0.20	0.08	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
30週	0.29	8.83	1.60	2.09	10.55	0.60	1.63	0.55	0.11	0.01	0.19	0.11	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
31週	0.14	10.16	1.55	1.96	8.29	0.56	1.73	0.43	0.10	0.01	0.19	0.03	0.00	0.14	0.00	0.09	0.00	0.04	0.00
32週	0.21	11.25	1.07	1.17	4.43	0.40	1.42	0.29	0.02	0.04	0.23	0.01	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
33週	0.42	19.68	1.09	0.98	2.17	0.43	1.02	0.16	0.07	0.01	0.10	0.01	0.03	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
34週	0.50	19.08	1.32	0.99	1.82	0.38	1.45	0.40	0.06	0.01	0.14	0.04	0.00	0.31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
35週	1.43	20.25	1.94	1.33	1.79	0.57	1.87	0.51	0.12	0.02	0.12	0.01	0.00	0.21	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00
36週	1.58	18.06	1.41	0.94	1.11	0.88	1.56	0.41	0.06	0.01	0.14	0.04	0.03	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04
37週	1.79	14.86	2.12	0.66	1.18	0.71	1.46	0.52	0.04	0.01	0.16	0.06	0.00	0.45	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
38週	1.40	10.28	1.40	0.42	0.94	0.78	1.15	0.52	0.07	0.01	0.17	0.01	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
39週	2.09	10.43	2.42	0.49	0.67	1.21	1.31	0.52	0.09	0.01	0.16	0.03	0.00	0.07	0.00	0.09	0.00	0.04	0.00
40週	3.78	8.20	2.59	0.36	0.31	1.50	1.36	0.29	0.18	0.02	0.14	0.02	0.00	0.07	0.00	0.04	0.00	0.04	0.00
41週	4.90	6.60	1.93	0.31	0.25	1.84	1.19	0.21	0.16	0.01	0.09	0.03	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
42週	9.19	6.79	2.66	0.24	0.27	2.47	1.11	0.17	0.09	0.00	0.17	0.01	0.00	0.14	0.00	0.04	0.00	0.04	0.00
43週	19.58	7.08	2.86	0.27	0.24	3.15	1.57	0.24	0.13	0.01	0.13	0.01	0.00	0.21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04
44週	24.68	6.51	2.51	0.29	0.08	4.02	1.16	0.16	0.13	0.00	0.07	0.01	0.00	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04
45週	25.78	5.87	3.09	0.31	0.14	5.73	1.39	0.21	0.10	0.00	0.15	0.01	0.00	0.24	0.00	0.13	0.00	0.00	0.00
46週	39.21	5.98	4.08	0.25	0.09	6.88	1.48	0.12	0.11	0.00	0.09	0.01	0.03	0.31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
47週	51.90	6.61	3.83	0.31	0.06	7.99	1.52	0.09	0.11	0.00	0.07	0.02	0.00	0.31	0.00	0.00	0.00	0.04	0.00
48週	50.49	6.82	4.32	0.33	0.07	8.05	1.96	0.10	0.17	0.01	0.12	0.01	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
49週	60.97	7.82	5.35	0.26	0.01	7.59	2.04	0.04	0.18	0.01	0.10	0.01	0.00	0.41	0.00	0.04	0.00	0.00	0.00
50週	47.25	9.31	5.59	0.31	0.01	7.51	2.37	0.04	0.16	0.01	0.08	0.01	0.00	0.41	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
51週	36.66	10.69	6.20	0.41	0.02	7.55	2.61	0.05	0.19	0.00	0.08	0.01	0.00	0.41	0.00	0.13	0.00	0.00	0.00
52週	24.19	12.28	5.67	0.35	0.01	6.09	2.50	0.01	0.11	0.02	0.07	0.02	0.00	0.31	0.00	0.04	0.00	0.04	0.00
平均	10.75	9.22	1.98	1.30	1.54	1.76	2.13	0.16	0.11	0.01	0.13	0.03	0.00	0.17	0.00	0.04	0.01	0.01	0.00

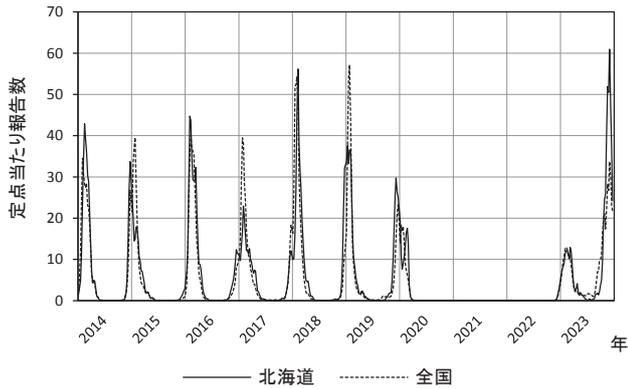
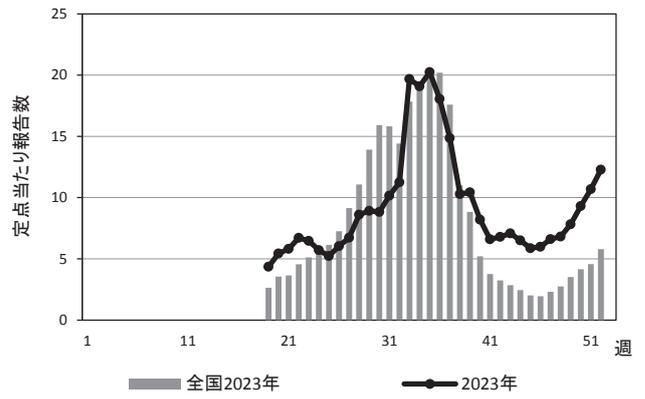
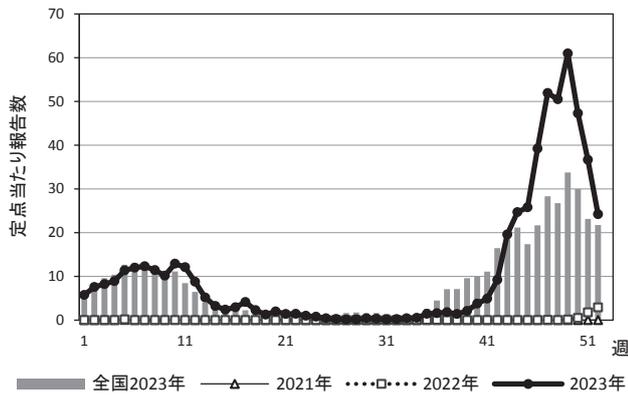


図 2-1 インフルエンザ定ポイントあたり報告数

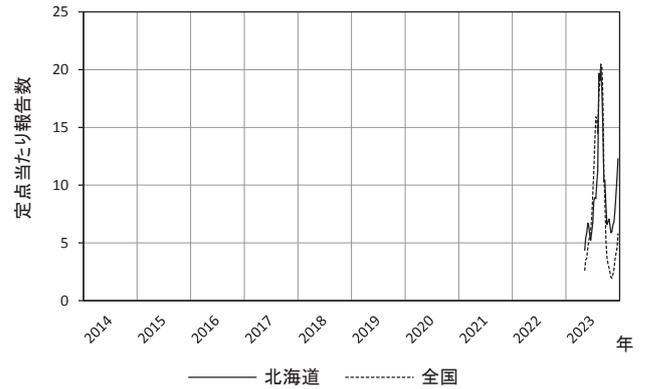


図 2-2 COVID-19 定ポイントあたり報告数

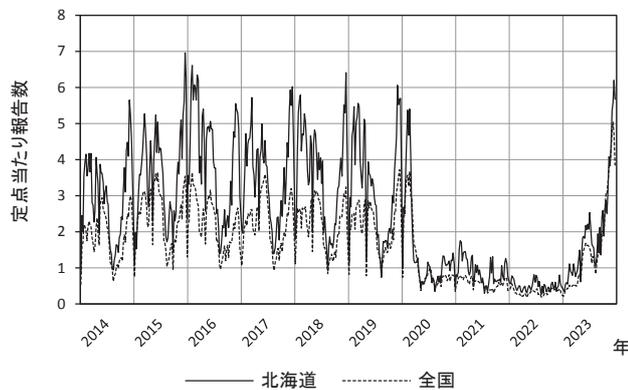
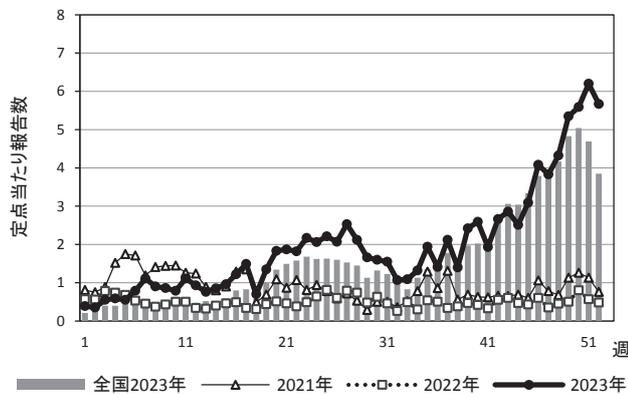


図 2-3 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎定ポイントあたり報告数

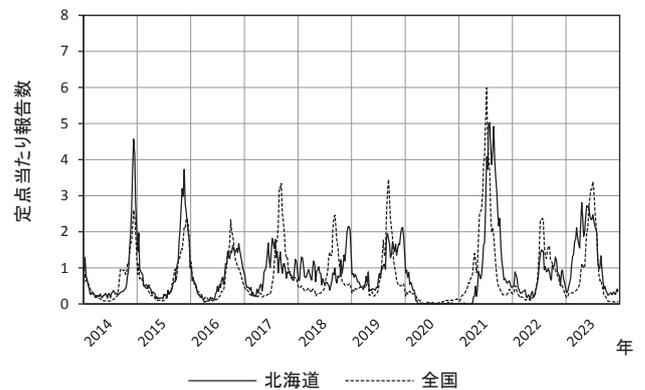
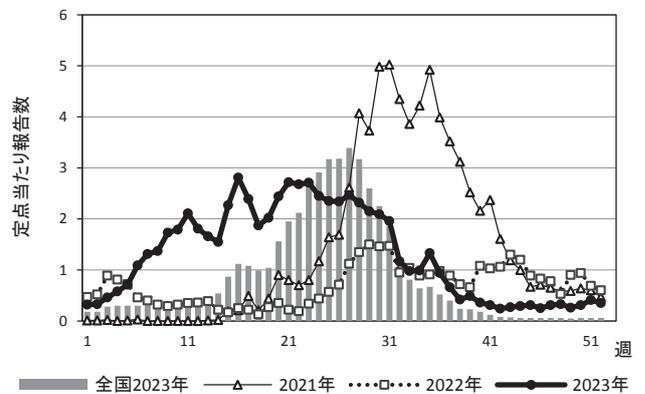


図 2-4 RS ウイルス感染症定ポイントあたり報告数

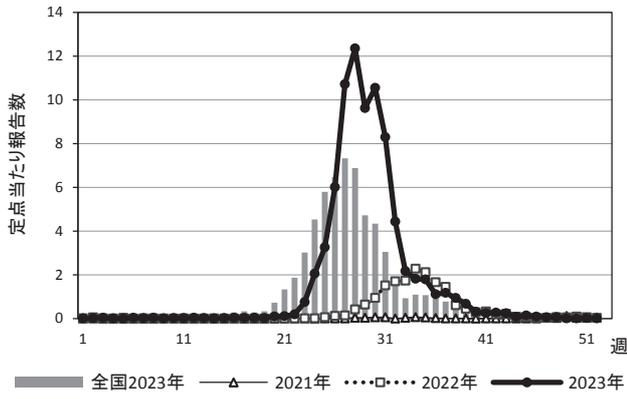


図 2-5 ヘルパンギーナ定点当たり報告数

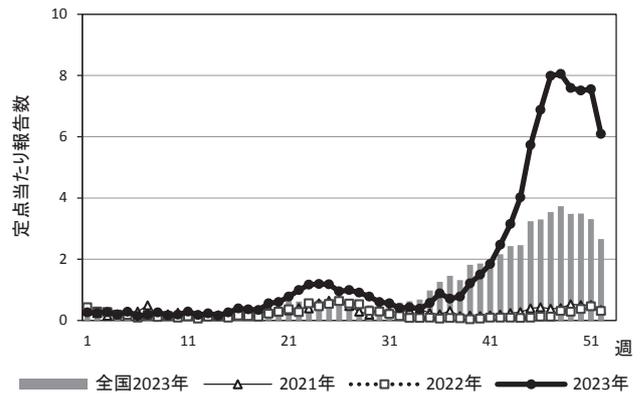


図 2-6 咽頭結膜熱定点当たり報告数

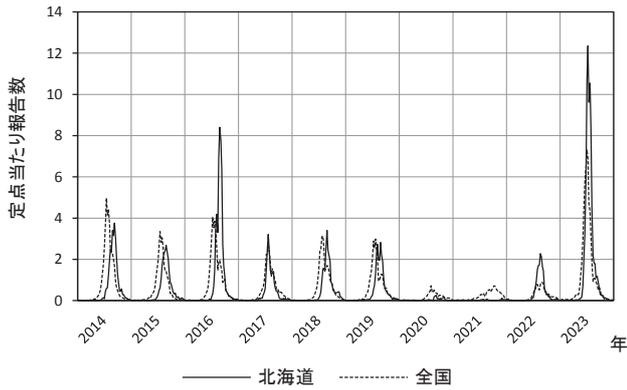


図 2-7 感染性胃腸炎定点当たり報告数

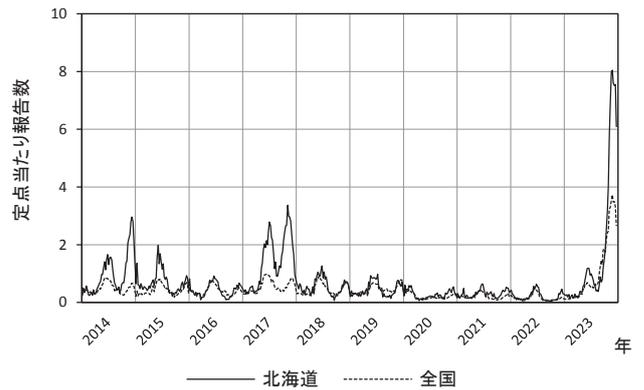


図 2-8 手足口病定点当たり報告数

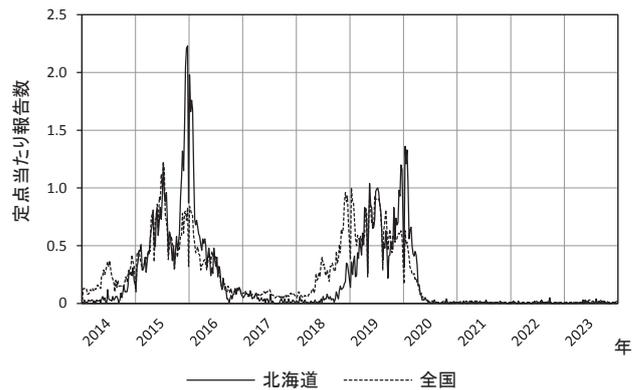
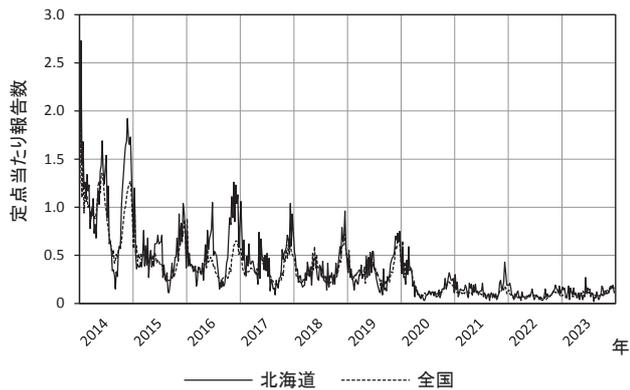
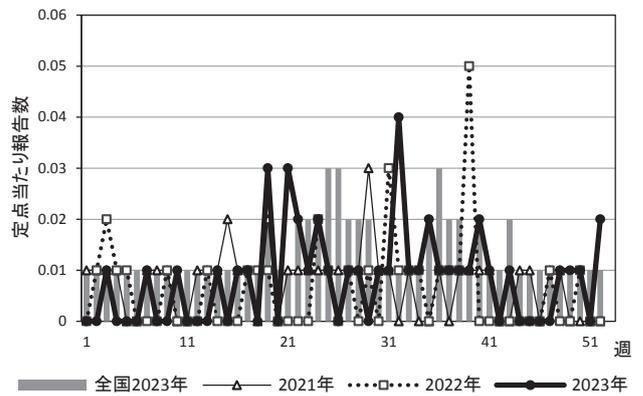
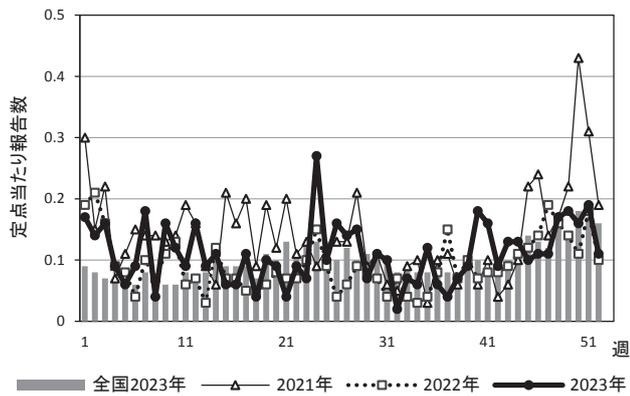


図 2-9 水痘定点当たり報告数

図 2-10 伝染性紅斑定点当たり報告数

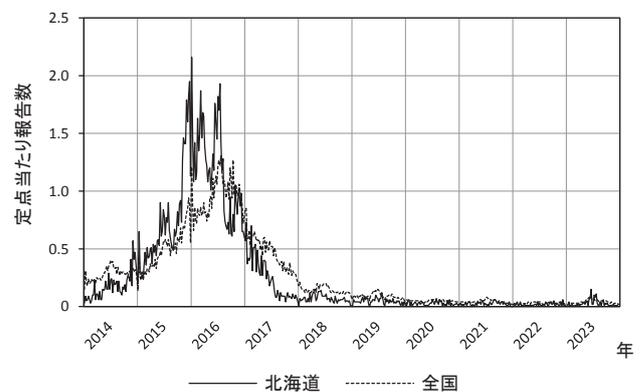
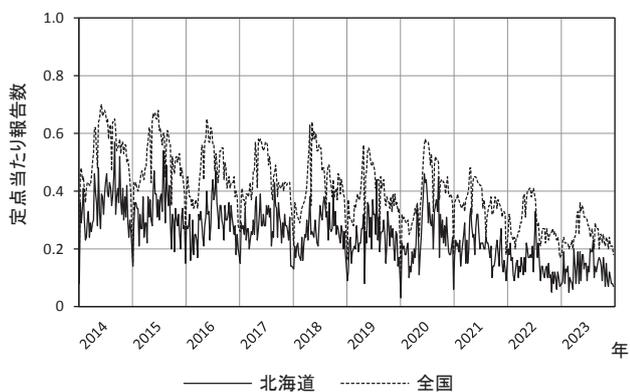
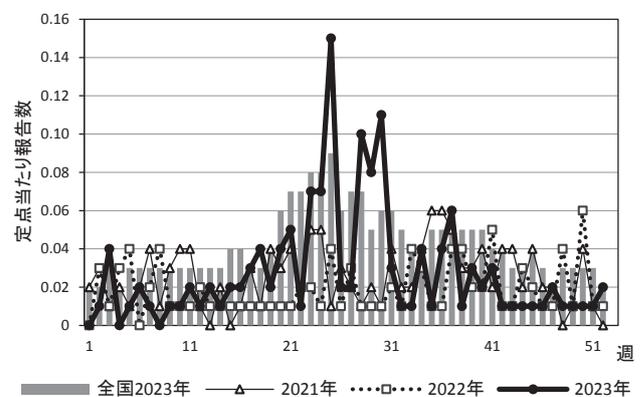
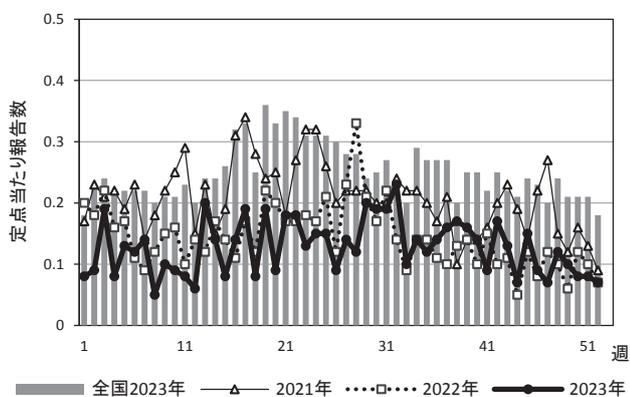


図 2-11 突発性発しん定点当たり報告数

図 2-12 流行性耳下腺炎定点当たり報告数

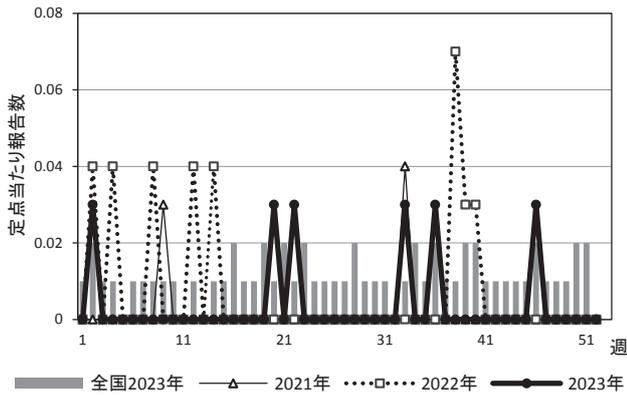


図 2-13 急性出血性結膜炎定点当たり報告数

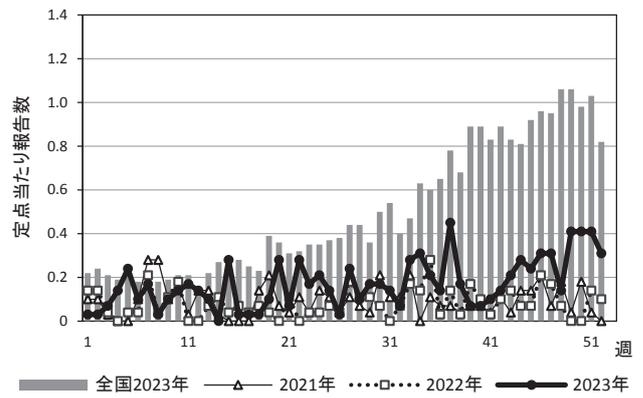


図 2-14 流行性角結膜炎定点当たり報告数

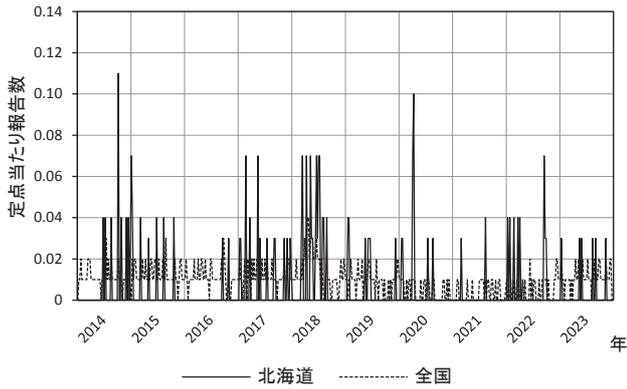


図 2-15 マイコプラズマ肺炎定点当たり報告数

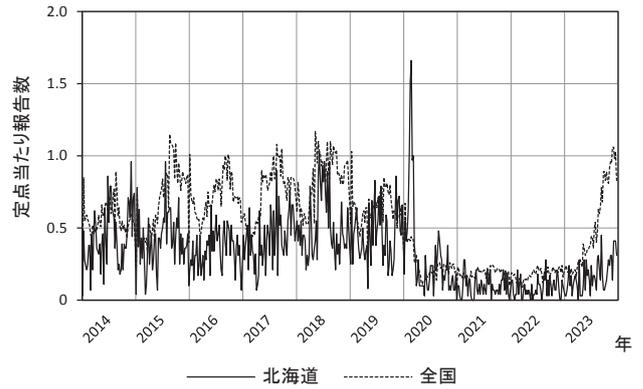
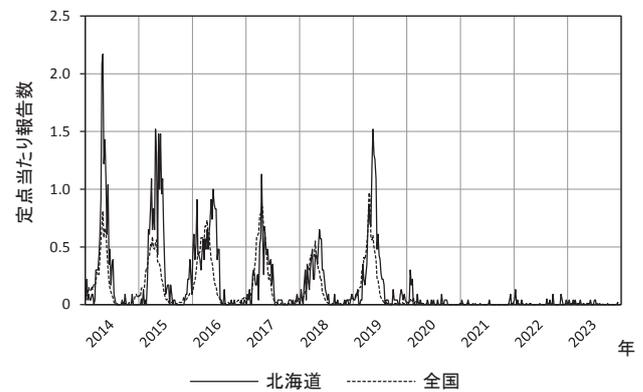
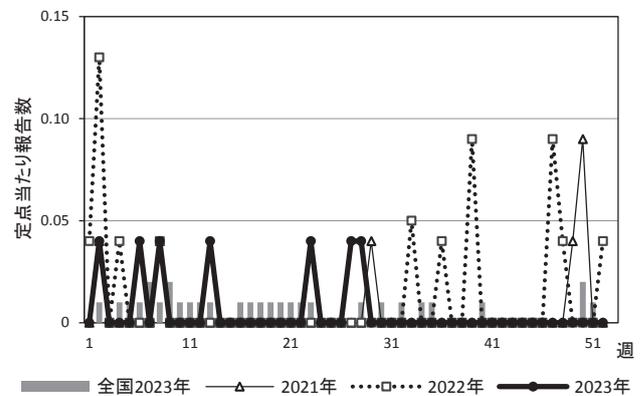
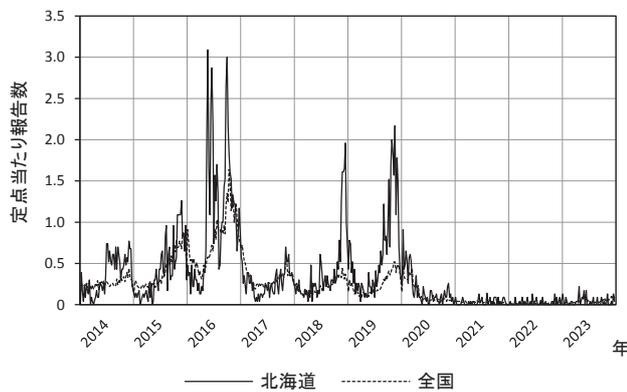
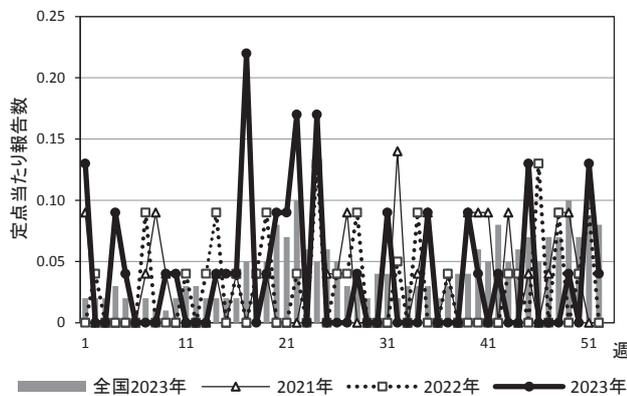


図 2-16 感染性胃腸炎（ロタウイルス）定点当たり報告数



1) インフルエンザ

2023年の定点における年間報告数は126,503例と、2022年の1,289例から大きく増加した(表3-1)。定点当たり週別報告数は2022-2023シーズン(2022年第36週~2023年第35週)について、2022年第51週に流行入りの目安である1.00を超え¹⁶⁾、2023年第10週にシーズン最多の12.90となった。その後第23週に1.00を下回ったが、第35週に再び1.00を超え、そのまま2023-2024シーズン(2023年第36週~2024年第35週)を迎えた。その後増加し、第49週には2014年以降最多となる60.97となった(表3-2)。2023-2024シーズンのピーク時の定点当たり報告数は全国よりも高かった(図2-1)。

2) COVID-19

2023年の定点における年間報告数は70,199例であった(表3-1)。定点当たり報告数は定点からの報告が開始された第19週以降増加し第35週の20.25をピークに一旦減少すると、再び増加し第52週に12.28となった(表3-2)。全国でも同様の報告数の増加傾向が確認された(図2-2)。

3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2023年の定点における年間報告数は14,336例と、2022年の3,624例から大きく増加した(表3-1)。過去10年で見ると、2019年までは春及び冬の2つのピークを有する流行が周期的に繰り返された。2020年以降は定点当たり報告数が低い水準で推移していたが、2023年第33週から報告数は増加し第51週に6.20となった(表3-2)。全国でも同様の報告数の増加傾向が確認された(図2-3)。

4) RSウイルス感染症

2023年の定点における年間報告数は9,382例と、2022年の5,040例から4,342例増加した(表3-1)。2023年は4~6月頃に報告数が増加し、流行のピークは第16週(定点当たり報告数:2.81)であった(表3-2)。主に冬期に流行が見られた2014~2019年や、夏期に流行が見られた2021年及び2022年と比べると、流行のトレンドの変化が確認された(図2-4)。

5) ヘルパンギーナ

2023年の定点における年間報告数は11,046例と、2022年の2,455例から大きく増加した(表3-1)。2023年は2022年よりも早い時期に流行が見られ、第28週に定点当たり報告数が2014年以降最多となる12.35となった(表3-2)。2023年のピーク時の定点当たり報告数は全国よりも高かった(図2-5)。

6) 咽頭結膜熱

2023年の定点における年間報告数は12,743例と、2022年の1,563例から大きく増加した(表3-1)。北海道では2017年に全国の中でも大きな流行(年間報告数:10,469例)を示した後¹⁷⁾、2019~2022年と年間報告数は減少傾向を示していたが、2023年は2017年を超える年間報告数であった。2023年のピーク時の定点当たり報告数は全国よりも高かった(図2-6)。

7) 感染性胃腸炎

2023年の定点における年間報告数は15,385例と、2022

年の11,268例から4,117例増加した(表3-1)。2023年に全国では1~2月、5~6月及び12月にピークを示し、北海道でも増減は小さいものの、同様の傾向が確認された。2014~2023年において、北海道の定点当たり報告数は全国と比較し小さい傾向が認められた(図2-7)。

8) 手足口病

2023年の定点における年間報告数は1,145例と、2022年の7,853例から6,708例減少した(表3-1)。手足口病は2014~2019年まで2年周期で大きな流行が認められた(図2-8)。

9) 水痘

2023年の定点における年間報告数は802例と、2022年の675例から127例増加した(表3-1)。水痘は2014年10月1日から生後12~36カ月の小児を対象としたワクチンの定期接種が始まった¹⁵⁾。2015~2019年の定点当たり報告数は冬期にピークを示したものの、ピークの大きさは縮小を続け、2020年以降は低い水準で推移した(図2-9)。

10) 伝染性紅斑

2023年の定点における年間報告数は60例と、2022年の43例から17例増加した(表3-1)。定点当たり報告数は2020年5月以降低い水準で推移した(図2-10)。

11) 突発性発しん

2023年の定点における年間報告数は923例と、2022年の1,041例から118例減少した(表3-1)。突発性発しんは2歳未満の乳幼児が報告の大部分を占めており、季節性や年次による差異をほとんど示さないことが特徴として知られている¹⁸⁾。しかし、北海道及び全国ともに2021年以降、定点当たり報告数は減少傾向を示した(図2-11)。

12) 流行性耳下腺炎

2023年の定点における年間報告数は203例と、2022年の146例から57例増加した(表3-1)。定点当たり報告数は2018年以降低い水準で推移した(図2-12)。

13) 急性出血性結膜炎

2023年の定点における年間報告数は6例と、2022年の9例から3例減少した(表3-1)。2014~2023年に特徴的な季節性は見られなかった(図2-13)。

14) 流行性角結膜炎

2023年の定点における年間報告数は261例と、2022年の124例から137例増加した(表3-1)。2023年の北海道における定点当たり報告数は一年を通して低い水準で推移したが、全国では第19週以降増加傾向が確認された(図2-14)。

15) クラミジア肺炎

2023年の定点における年間報告数は1例であった(表3-1)。

16) マイコプラズマ肺炎

2023年の定点における年間報告数は46例と、2022年の33例から13例増加した(表3-1)。定点当たり報告数は2020年5月以降低い水準で推移した(図2-15)。

17) 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

2023年の定点における年間報告数は7例と、2022年

の14例から7例減少した(表3-1)。定点当たり報告数は2020年2月以降低い水準で推移した(図2-16)。

18) 細菌性髄膜炎

2023年の定点における年間報告数は7例と、2022年の9例から2例減少した(表3-1)。

19) 無菌性髄膜炎

2023年の定点における年間報告数は5例と、2022年の2例から3例増加した(表3-1)。

3. 定点把握疾患(月報)

定点把握疾患(月報)の報告状況について、表4-1~4-5に示した。

1) 基幹定点

2023年はペニシリン耐性肺炎球菌感染症10例、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症496例の報告があり、薬剤耐性緑膿菌感染症の報告はなかった(表4-1)。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症の報告に季節性は認められなかった(表4-2)。

2) 性感染症定点

性器クラミジア感染症の2023年の定点における年間報告数は2,167例で、月ごとの報告数にはほぼ変動がなかった(表4-3、4-4)。女性の報告が男性の1.9倍と、女性の

報告が多かった。年齢は20代の若い世代に集中しており、全体の59%を占めた。また、10代では女性の報告が男性の3.7倍であった(表4-5)。

性器ヘルペスウイルス感染症の2023年の定点における年間報告数は579例で、月ごとの報告数にはほぼ変動がなかった(表4-3、4-4)。女性の報告が男性の2.9倍と、女性の報告が多かった。年齢は男性で40~59歳、女性で20~39歳の報告が多かった(表4-5)。

尖圭コンジローマの2023年の定点における年間報告数は334例で、月ごとの報告数にはほぼ変動がなかった(表4-3、4-4)。男性の報告が女性の2.0倍と、男性の報告が多かった。年齢は20代の報告が多かった(表4-5)。

淋菌感染症の2023年の定点における年間報告数は588例で、月ごとの報告数にはほぼ変動がなかった(表4-3、4-4)。年齢は男女ともに20代の報告が多かった(表4-5)。

以上、北海道における2023年の感染症発生動向について報告した。各保健所管内の詳細なデータについては、当所ホームページ⁸⁾を参照されたい。

本報告を終えるにあたり、感染症発生動向調査にご協力頂いている医療機関ならびに関係機関各位に深謝いたします。

表4-1 定点把握疾患(月報:基幹定点) 報告数

定点名	疾患名	2020年	2021年	2022年	2023年
基幹定点	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	32	13	10
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	477	429	433	496
	薬剤耐性緑膿菌感染症	7	3	3	

表4-2 定点把握疾患(月報:基幹定点) 月別報告数(2023年)

疾患名		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
報告数	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2	2		1			3			2		
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	57	45	46	33	37	41	38	45	40	48	35	31
	薬剤耐性緑膿菌感染症												
定点 当たり	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0.09	0.09		0.04			0.13			0.09		
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2.48	1.96	2.00	1.43	1.61	1.78	1.65	1.96	1.74	2.09	1.52	1.35
	薬剤耐性緑膿菌感染症												

表4-3 定点把握疾患(月報:性感染症定点) 報告数

定点名	疾患名	2020年	2021年	2022年	2023年
性感染症定点	性器クラミジア感染症	1,993	2,048	2,115	2,167
	性器ヘルペスウイルス感染症	498	487	544	579
	尖圭コンジローマ	208	203	221	334
	淋菌感染症	507	607	604	588

表4-4 定点把握疾患(月報:性感染症定点) 月別報告数(2023年)

疾患名		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
報告数	性器クラミジア感染症	176	182	170	162	182	220	186	182	176	185	177	169
	性器ヘルペスウイルス感染症	29	37	48	58	60	59	51	50	43	48	51	45
	尖圭コンジローマ	18	23	32	20	30	24	26	24	29	30	42	36
	淋菌感染症	50	51	56	36	45	46	58	56	57	45	52	36
定点 当たり	性器クラミジア感染症	4.19	4.33	4.05	3.86	4.33	5.24	4.43	4.33	4.19	4.40	4.21	4.02
	性器ヘルペスウイルス感染症	0.69	0.88	1.14	1.38	1.43	1.40	1.21	1.19	1.02	1.14	1.21	1.07
	尖圭コンジローマ	0.43	0.55	0.76	0.48	0.71	0.57	0.62	0.57	0.69	0.71	1.00	0.86
	淋菌感染症	1.19	1.21	1.33	0.86	1.07	1.10	1.38	1.33	1.36	1.07	1.24	0.86

表4-5 定点把握疾患（月報：性感染症定点） 年齢階級別報告数（2023年）

年齢階級	性器クラミジア 感染症			性器ヘルペスウイルス 感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0歳												
1～9歳												
10～19歳	63	234	297	2	18	20	7	25	32	29	54	83
20～29歳	388	880	1,268	22	107	129	71	52	123	178	135	313
30～39歳	170	210	380	18	114	132	37	20	57	58	31	89
40～49歳	94	78	172	45	82	127	47	9	56	38	14	52
50～59歳	24	16	40	34	55	89	38	3	41	25	14	39
60～69歳	5	2	7	16	27	43	11		11	7	4	11
70歳以上	2	1	3	10	29	39	12	2	14	1		1
合計	746	1,421	2,167	147	432	579	223	111	334	336	252	588
男女比	1.00	1.90		1.00	2.94		1.00	0.50		1.00	0.75	

文 献

- 厚生労働省ホームページ：感染症法に基づく医師の届出のお願い，感染症発生動向調査事業実施要綱，https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html（確認：2024年5月24日）
- 厚生労働省健康局結核感染症課長通知健感発0203第2号「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について（一部改正）」，令和2年2月3日
- 厚生労働省健康局長通知健感発0203第2号「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の改正について（新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律関係）」，令和3年2月3日
- 厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部事務連絡「With コロナの新たな段階への移行に向けた全数届出の見直しについて」，令和4年9月12日
- 厚生労働省健康局結核感染症課長通知健感発0502第1号「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について（一部改正）」，令和5年5月2日
- 厚生労働省健康局結核感染症課長通知健感発0526第17号「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について（一部改正）」，令和5年5月26日
- 中野道晴，市橋大山，長野秀樹，扇谷陽子，宮田 淳，岡野素彦：地方感染症情報センターにおける患者情報集計，解析業務を支援する情報ツール，北海道公衆衛生学雑誌，28(2)，147-150（2014）
- 北海道立衛生研究所ホームページ：北海道感染症情報センター，<https://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>（確認：2024年5月24日）
- 国立感染症研究所感染症疫学センターホームページ：E型肝炎とは，<https://www.niid.go.jp/niid/ja/encyclopedia/392-encyclopedia/319-hepatitis-e-intro.html>（確認：2024年5月24日）
- 高津祐太，川代愛梨，田宮和真，越湖允也，山口宏樹，三好正浩，森本 洋，藤谷好弘，人見嘉哲，高畑むつみ，鈴木かなん，石尾 崇，岩崎 博，井端 淳，川原良介，大塚圭輔，山口公一，森 卓哉，葛岡修二，山口 亮，小泉信夫：北海道で初めて確認された水系感染疑いのレプトスピラ症の1例，病原微生物検出情報，45(3)，46-47（2024）
- 厚生労働省ホームページ：B型肝炎，<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000137555.html>（確認：2024年5月24日）
- 川代愛梨，田宮和真，高津祐太，山口宏樹，越湖允也，三好正浩，森本 洋，渡 慧，長野秀樹，櫻井敦子，三津橋和也，大久保和洋，駒込理佳：ヒトパレコウイルス3型が検出された複数の急性脳炎症例，2023年一北海道，病原微生物検出情報，45(3)，49-50（2024）
- 国立感染症研究所感染症疫学センター：Hibワクチン定期接種化に至るまでの経緯と小児ワクチン接種の現状，病原微生物検出情報，34(7)，199-201（2013）
- 厚生労働省健康局長通知健感発0330第1号「予防接種法の一部を改正する法律の施行等について」，平成25年3月30日
- 厚生労働省健康局長通知健感発0716第24号「予防接種法施行令の一部を改正する政令ならびに予防接種法施行規則及び予防接種実施規則の一部を改正する省令の施行について」，平成26年7月16日
- 田宮和真，川代愛梨，高津祐太，山口宏樹：北海道における感染症発生動向調査について（2022年），道衛研所報，73，61-78（2023）
- 後藤明子，市橋大山，駒込理佳，中野道晴，長野秀樹，岡野素彦：北海道における感染症発生動向調査について（2017年），道衛研所報，68，63-77（2018）
- 国立感染症研究所感染症疫学センターホームページ：突発性発疹とは，<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/532-exanthem-subitum.html>（確認：2024年5月24日）